

人民新聞

発行所：人民新聞社

〒552-0023 大阪市港区港晴 3-3-18-1F
TEL (06)6572-9440
FAX (06)6572-9441
Mailto:people@jimmin.com
URL:http://www.jimmin.com
郵便振替口座:00950-4-88555

- ② オバマ・盗聴強化法に署名
- ④ イスラエル化する日本
- ⑥ 老人は国会突入を目指す
- ⑦ トランプ政権に対抗する米国の社会運動

2017 新年号

龍谷大学名誉教授 杉村 昌昭さんインタビュー

資本主義は先進諸国で内戦を生み出した

反権力の集合的共通感情を作り出す「場」の創出を！

感情は社会構造によって作られる



▲ 杉村昌昭さん

フレデリック・ロルドンは、もともと、新自由主義批判者として、権威主義的な経済学研究者だったのですが、フランスのニュー・ドゥップ運動(※3月の労働法改悪反対運動をきっかけにパリの共和国広場をはじめ全土で大規模な占拠運動が半年間にわたり戦われた)の理論的指導者として注目されています。彼は、「感情の社会」(邦訳『私たちの感情と欲望は、いかに資本主義に偽造されているか?』新自由主義社会における「感情の構造」)作品社、杉村昌昭訳)で、感情がどのように作られるかを書いていきます。17世紀オランダの哲学者スピノザの著書『エチカ』で展開されている理論を使って現代を科学的に分析する、という手法を採っています。

ポイントとは、感情が社会を動かしているが、その感情は社会構造によって作られるということです。

「新自由主義の哲学」は個人主体の形而上学で、デカルト的な個人主体が先験的に存在している、それが社会を構築する、という考え方です。個人が最初にあるので、新自由主義お得意の「自己責任」が問われることになります。

米國次期大統領にトランプ氏が選出されるといふ「事件」の衝撃が冷めやらぬまま2016年が暮れ、17年が明けた。新自由主義的グローバリズムへの反抗は、自國第一主義というナショナリズムの広がりとして欧米を席巻するかに見える。しかし、例えばフランスでは、労働法改正案反対運動を端に新しい社会運動が台頭し、フランス全土に広がりを見せた。この運動は、「ニュー・ドゥップ」(夜に立ち上がり)あるいは「抵抗の夜」の意、と名づけられ、参加者は、パリの共和国広場を連夜占拠し、様々なテーマで討論した。討論のテーマに制限はなく、ベシクインカム、遺伝子組み換え作物、新憲法など様々で、誰でも意見表明できるという。指導者をおかず、参加者の対等・平等を重んじる直接民主主義の実践だ。ニューヨークのウォール街占拠運動やスペインで躍進した左翼政党ポデモスを生んだ反緊縮財政運動の流れを汲む未来志向の運動だ。

人民新聞では、新年特集として、「抵抗」をキーワードとして世界各地の社会運動・思想を紹介する。第1回目は、このニュー・ドゥップ運動の事実上のスポークスマンで経済学者のフレデリック・ロルドンとも親交が深い杉村昌昭さんに、ヨーロッパの先鋭的思想家たちが、世界をどう捉えようとしているのか?を聞いた。

次号以降、中国・米・中東など各地の抵抗運動や世界認識について紹介していく。(文責:編集部)

ロルドンは、これを批判して、その感情そのものは社会構造によって作られていることを自覚すべきだと説いています。個人主体よりも「共同性」が先にあって初めて人間生活が成り立つのであり、その過程で個人という概念が生まれてくるのだということです。ロルドンは「人間は感情を持ったロボットである」とまで言っていますが、ロボットと違う点は、「感情」があることであり、その感情が反転して社会を変えていく原動力にもなる、としています。

たとえば従順な労働者であつても、我慢できない臨界点に達すると爆発して歴史は変わるといふ主張です。先日、電通で働くエリートとして囁望されていた24才の女性が自殺しました。新自由主義の中で拡大する格差問題では、非正規などの底辺労働者に焦点が当たっていました。今やエリート層まで犠牲になる時代となりました。

ロルドンは、「個人は共同体が生み出したものであつた」と述べています。(2面へ続く)



昨年、トランプ候補が当選を決めた翌日11月10日付けの朝日新聞「天声人語」は、「民主主義は完璧でないことを教えてくれた選挙だった」という言葉で結ばれていた。その指摘は朝日新聞が代表してきた、いわゆる知的エリートの正直な失望の表明ではあるけれど、進行しつつある時代状況の核心を大きくはズしている。それは、民主主義という理念と実現するための政治システムに対する無知を表明していると言える▼国民国家という枠組みが政治の舞台となって以後、代議制は不可避となった。だから選挙が民主主義そのものだとの思い込みは根強い。けれど、日常生活からはるか遠いそんな『民主主義』を、人々は概ね無関心で受け入れている。個人生活が危機に直面する時、憤りが湧き上がるが、やがて、深い失望に替わる。トランプを選んだアメリカの人々の底知れぬ深い失望にこそ、時代の核心はあったのだ▼歴史に学ぶ謙虚さを持たない安倍首相も、国民権と民主主義を混同してはばからない一人だ。主権という言葉に焼きついたドス黒い支配の歴史を学ぶ気概もなく、政権延命にだけ忙しい民主主義は万人の人権が等しく尊重される政治理念。その実現の核心は人々の暮らしの現場での闘いこそある。(M)

安倍や橋下をみつける人の怖さというものの闇を感じて戦争の本質や責を「不戦の誓い」だ、美辞麗句を平気で言える。思えば政治家とはそういうものだと思う▼平気で嘘が言えたり暴力的弾圧ができたりするのはなぜかと考えると、「自分が嘘・空虚な美辞麗句を吐いている」という感覚がなく、脳の中で自分の都合のいいように認識を曲げてしまっているからだ。政治とは権力闘争で、勝たねば意味はない、そのために何をしてもよい、目的のためには嘘もデマも謀略も買収も恫喝もOK、という考えを持っているからだ。さらにその背景には、人としての倫理よりも自分が優位に立つことを優先する思考があり、自分に本当の自信がなく、人を信じられず、金や権力(主流秩序)にとらわれ、非暴力の在り方を知らず、少しの異論を自分への攻撃と思い、自分をよく見せなくては不安だというような感覚があるのだろう▼ナイーブな人なら、嘘をついた時に罪悪感や恥を感じたり動揺があるものだが、安倍などの政治家は平気で大胆に堂々と嘘をつけるのだから、サイコパスや反社会性人格障害と近い、ある種の病気状態といえるかもしれない。政治の闘争路線について暴力をどう評価するかは、時代によると思う。しかし、今、言えることは、今は非暴力こそが、「敵・主流秩序との対抗の路線」ということだ。だが、こうした政治家は自分を病気と認識しないから、嘘を平気で言い続けるだろう。(H)

将棋の三浦弘行九段が、対局中に将棋ソフトをカンニングしたのではないかと疑いがかけられ、出場停止処分を受けた。その後疑いが晴れたとはいえ、この事件はトップクラスの棋士たちですら、ソフトの進歩に脅威を感じていることを示している▼ホーキング博士は、私たち人間が目覚めた時にネズミの看守たちによって牢獄に入れられていたとしたら、そのネズミを倒して獄から出ていこう、彼らとてそうだと、AIが進歩して人間の手に負えない日がくることに対して警鐘を鳴らしている▼浦沢直樹は作品の『ブルート』において、ロボットは人を殺すことができるかという深刻なテーマについて掘り下げた。もともと『ブルート』は、手塚治虫の『鉄腕アトム』シリーズの中の一話をリメイクしたものだが、手塚治虫がロボットの夢を語ったのに対し、現代の浦沢直樹はロボットのもつ危険性についてとりあげた。そして、彼の答えは「できる」だった▼米軍の巡航ミサイルや無人攻撃機は、すでに多くの人間を殺している。これらの兵器は、半自動だからロボットとまでは言えないが、その延長上に、ロボットが人を殺す日が来ることを思わせる。米軍はAIやロボットの研究に一番熱心である。(ヤ)



▲フレデリック・ロルドン

て、共同性こそ前提にすべき概念であって、個人の先験的存在性を基礎に置く近代的な人間観を逆転させなくてはならない」という考えです。個人は社会によって作られているので、社会構造を変えない限り個人も変わり得ないという主張です。

絶対資本主義

ロルドンは、「新自由主義の労働政策は、労働を楽しくさせることだ」と言います。近代的フーディズムは、映画「モダンタイムス」に描かれたように、「労働は苦役だが、消費欲望をかき立てて消費を楽しませる」というものでした。ところが、これが限界点に突き当たり、新たな資本蓄積のために喜びを労働に内在化させて、労働そのものを楽しませなくてはならないという政策です。しかし、それは必ずしもうまくいってはいない。

たとえば電通社員の自殺は、エリート社員ですら労働に耐えられなくなっているという矛盾が吹き出たという、象徴的な事件だと思えます。ところが問題は、これが反抗ではなく「自殺」という結末を迎えていることです。マスメディアは、この事件を報道するときにしばしば電通の企業



▲2016年11月／280頁／2400円＋税／著「フレデリック・ロルドン」訳「杉村昌昭」発行「作品社」



▲フランス「ニュー・デュブ」運動

これまた友人のエリック・アリエーズとマウリツィオ・ラツァラートが昨年『戦争と資本』という大著を共著で刊行しましたが、これは1968年から半世紀にわたる社会状況の総括の試みです。彼らは「資本主義はあらゆる先進諸国内戦を生み出した」と述べています。階級的な内戦、フェミニズムの内戦、民族差別の内戦、文明の内戦等々、あらゆる次元で内戦が起きていて、この内戦をどう闘うかが今後の最大のテーマだと述べています。

ロルドンもフランコもエリックもマウリツィオも現代

資本主義に対する批判的姿勢は似通っていますが、分析の角度はそれぞれに異なっています。エリックとマウリツィオは、「新自由主義は68年革命から体制維持のために多くを学び現代資本主義を創りあげてきたのだが、その過程で多くの社会問題を引き起こし、その結果として反体制派と社会的諸次元で内戦状態に突入している」という共通認識です。

フランスで起きた「ニュー・デュブ」(夜、立ち上がり)の運動も、そうしたネオリベへの反抗の一つです。テロに対する怒りからイスラム排斥・民族差別が起き、これへの批判が労働法改悪反対運動と結びついて、大きな盛り上がりを見せました。さまざまな職種・階層の人々が、パ

内戦状態をどう闘うか？

残して死ぬことです。その映像を「生」の証としているという分析です。フランコは、これは資本主義が絶対的的前提となった社会が生み出した逆説的「ヒーロー」だ、と述べています。相模原の殺人事件などもこの一種でしょう。

ヘイトスピーチや極右ネオファシストが増大しているのは、現実生活の中でのコミュニケーションがでず、ネット空間で存在を確認する若者が増えているからです。

リ共和国広場に集まって夜通し議論し、郊外からも若者が集まり、直接民主主義の実践として注目を集めました。

ロルドンはこの運動の理論的支柱ですが、彼は「ニュー・デュブ運動」をネオリベ資本主義を根底から批判する実践として位置づけ、「大銀行や国際金融組織を査察せよ！」と訴えています。彼はまた、こうした運動を反資本主義反権力的な共通感情を作り出す「場」としても意義づけています。

この直接民主主義を求める運動は、スペインの怒れる若者たちの運動から始まり、ウォールストリート占拠へと引き継がれました。「アラブ

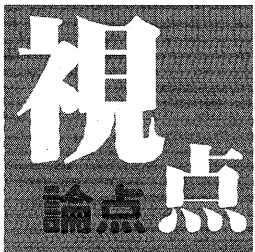
の春」は中東全域に広がり、チリやケベックでも若者の運動が盛り上がりつつあります。2015年ギリシャでは反債務運動が起り、トルコでも広場占拠がありました。ニュー・デュブも一連の流れを受け継いでいます。

日本でも内戦状態になつていくのですが、潜在化しているだけです。日本の場合、矛先が内向化し、自殺や引きこもりという形で自分に向かっています。フランコ・ペラルディは、これも反資本主義の一例だと分析し「働くな。引きこもれ！」と言っています。これも内戦の一つでしょう。ヨーロッパ諸国では、イスラム国への共闘デ

盗聴強化法に署名ースパイ防止名目

オバマの最後っ屁

編集部 脇浜 義明



昨年年末にオバマは、「情報攪乱とプロパガンダへの対処法」を含む「国防権限法」に署名し、成立させた。これは、大統領選挙で「トランプが勝ったのは、ロシアのスパイ活動的支援があったからだ」という噂への対処のようである。海外プロパガンダでは、例えばVOA、ハリウッド映画、アメリカ文化センター、NGO、慈善活動、キリスト教布教活動など、ロシア(あるいは旧ソ連)なんかより米国の方が徹底しているのに、何を今さら、という感じがする。

この法律によって、去年3月に米国が「テロリスト」のプロパガンダに抵抗すると、言って設立した「グローバル・エンゲージメント・センター」(GEC)が、オーウェルが

得票総数ではクリントンが勝っているのに、トランプが当選しました。総人口から言えば、せいぜい5割程度の選挙民が投票しただけで、しかもそのうちの半分以下がトランプを支持しただけで、世界に圧倒的影響力行使する米国大統領が選ばれてしまうのです。議会の勢力図は、実際の社会的意識の分布図と大きくずれてしまっています。潜在的な意識も含めればもっとずれています。議会がさまざまな社会勢力をそのまま反映しているとは到底言い難い状態です。

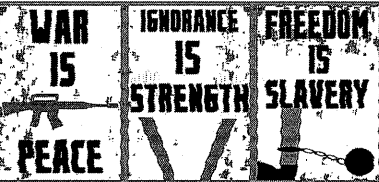
ギリシャの左翼政党シリザは政権党になりましたが、結局、債務返済を押しつけられ

「1984年」で描いた全体主義国家オセアニア政府の真理省となりそうである。真理省は、反国家行為や思想を取り締まるだけでなく、国民の言葉や思考をニュースピークという言語を通じて統制する省である。そこでは、テレビは「観る」ものでなく、向こうから「見られる」ものである。だから、単に敵対外国への対処だけにすぎない、国民統制の道具なのだ。現に「情報攪乱とプロパガンダへの対

処法」では、内外のジャーナリストの訓練、NGO、市民団体オルガナイザー、シンクタンク、民間会社、メディアとの接触や助成金提供のための予算措置も定められている。

差別問題をライフワークにしてきた私にとって、黒人初の大統領として少しは期待したのだが、「カラーブラインド政策」で黒人を裏切り、最後にはオーウェルの世界の準備をして退場するなんて、最悪の大統領の一人である。

マイナバーや特定秘密法の安倍、ブリン、習近平、トランプなど、独裁志向の政治家が踊る舞台としての世界だ。残る人生をいくつか等とことん闘うことに捧げる。



▲オーウェル『1984年』より。「戦争は平和である、自由は隷属である」

「1984年」で描いた全体主義国家オセアニア政府の真理省となりそうである。真理省は、反国家行為や思想を取り締まるだけでなく、国民の言葉や思考をニュースピークという言語を通じて統制する省である。そこでは、テレビは「観る」ものでなく、向こうから「見られる」ものである。だから、単に敵対外国への対処だけにすぎない、国民統制の道具なのだ。現に「情報攪乱とプロパガンダへの対

てしましました。スペインのポデモス運動も議会に大きく進出しましたが、今では当時の勢いはなくなっています。結局、議会主義で政権を取っても、新自由主義権力と彼らの金融主導の世界政治には勝てないということがはっきりしてきました。フランス社会党がいろいろです。政権を担っているが、完全にネオリベになつています。

つまり、選挙そのものの擬制を暴き、直接民主主義の回路を切り開くことこそが、状況を変える唯一の方法でしょう。しかし、その具体的方法は誰にもわかっていない、という混沌の時代です。最も先



外国人介護士と介護現場

ナショナリズムを越え、隣人を迎え入れるために

遥矢当

「Sorry, We can't explain our reason to you」

私は電話口でそう繰り返すばかりだった。電話口で「なぜですか?」と繰り返し問うフリービーン出身の女性に対し、私はそう繰り返すしかなかったのだ。

今から7年前、私は都内の介護施設で施設長として勤めていた。その当時も、介護職員を募集すると、7〜8人応募者がいれば必ず1人は外国人が応募してきていた。外国人の介護職への応募は、介護施設の運営上、私自身のテーマであった。かつて人民新聞紙上でも読者諸氏に投げかけたことがあった。今は介護現場から離れた立場にいるものの、私自身はお悩みの尽きないテーマとして抱え込んでいる。

昨年(2016年)、外国人介護士の介護現場での受け入れ体制の整備は大きく動いた。安倍政権が猛スピードで成立を急いだ「外国人技能実習制度」関連法案の国会通過に始まり、入管法の改正と併せ、外国人が介護の実習を日本国内で受けやすくなる基盤が整い始めている。外国人介護士の受け入れは、人手不足で逼迫した介護現場を尻目に、厚生労働省、総務省、外務省の3つの省庁を横断した問題となかなか目途が立たず、いわば「縦割り行政」の弊害の象徴にすらなっている。

しかし、制度の改正だけでなく、この国の外国人介護士をとりまく環境が改善されるのだから。

日本は今、対アジアの外交について言えば最悪の状況と言って良いだろう。

排他的な国民の文化的態度が不興を買っている、と言っても過言ではない。各国

の介護関係者には、日本国内で日々生活を送ることに對し脅威を感じざるを得ない、とする外国人介護士たちの意見も根強い。外国人介護士を受け入れるのは、介護現場だけではない。日々暮らす地域や住民たちにも受け入れる心構えを持つ必要がある、というごく当たり前の認識が欠如しているからだ。

それにしても、「介護現場に介護職が少ないから」という理由で外国人介護士を受け入れるのだろうか。「この国の介護技術を世界に伝播したから」という理由で外国人介護士を受け入れるのだろうか。この国は、一見相反する2つのテーマを長く悩んできた。民主党政権時代、菅政権では「介護を成長産業」へとする施策が掲げられたり、安倍政権でもまた「日本再興戦略」の柱として位置づけられたり。

選挙制度そのもののせいや疑問を口にしません。

日本では、天皇制もタブーの一つです。憲法第一条では、「天皇は国家の象徴であり国民統合の象徴」と書かれています。国家や国民統合の象徴が「生身の人間」であること自体が基本的におかしいのです。それなのに第1条を問題にする憲法学者がほとんどいないことは異常と言わねばなりません。

天皇制の存続が自明の前提になつていて、誰も疑いを差し挟まないのです。天皇アキヒトが「生前退位」を口にして、憲法1条を問

題にすべき時です。付言するなら、天皇制の問題が単に「生前退位」うんぬんという狭隘な次元の話にとどまらず重要なのは、天皇制が廃絶されない限り(少なくともその機運が高まらない限り)階級差別や身分差別や民族差別や性差別など主要な差別が根本的に解消されないことは自明の理だからです(天皇制の根源的問題性については、5面掲載の小論を参照してください)。

日本も潜在的には内戦状態にあるのにそう見えないのは(沖縄の反基地闘争は内戦と

思えば、介護の政策上の立場でこの2つの議論があるせいで、未だに定まらない。

私は、ここにこそ、立ち位置の決まらない介護現場の懊悩の端緒があると思つている。安倍政権は素直に、この国の経済について議論が持たれるG20のような場で、素直に「介護の危機」を訴え諸外国の理解を得る―そのような謙虚さが外交で求められているはずなのに、と思うのだ。

この国は「人口減少」が本格的に始まり、マクロ経済で言えば、さらに国家としての規模が縮小に向かっている。国が小さくなる中で、人々との距離が縮まらないのはなぜだろう。偽りでしかない「さながら開国」を免罪符に、東京オリンピックの開催をなお進める安倍政権の本質もここで露呈している。一方的な違和感による排他的な態度を繰り返す人々が増えているが、

実はその人自身が社会から孤立している現状を理解していない。

人と人との間に垣根を作るのは、介護現場でも、制度でもなく、私たち自身だ。

私自身はここ近年、外国人看護師に会うことも多い。自国では医療従事者として優秀な彼女らは、敢えて医療ではなくこの国の介護の現場を目指している。彼らは言う。「日本の技術は優秀だが、日本語(と日本文化)が難しい」と。日本人は外国の文化を理解しようともせず、ほとんど諸外国に飛び出し割って入ろうとする厚かましさがあつくせに、と私は思う。

私たちはナショナリズムを超え、1人の人間として、隣人を迎える心構えが求められている。

そして私も、さらに世界に胸を開く1年にしたい。

(3面から続く)

「房」の「選挙」という項目に「進的な民意は、オキュパイ(占拠運動)のような直接行動から出てきていますが、多くの人は選挙が唯一の民主主義の鍵のように思い込んでいるのです。民主主義を「新しい社会に向かう直接的な革新運動」と考えれば、選挙はむしろ非民主主義的な現状維持装置であり、一部の保守的な層が政治権力を握るための道具に過ぎないことが、世界的にもますます明らかになってきています(選挙の不条理性についての私の考えは、友人たちとともに昨年刊行した『既成概念をぶち壊せ』「晃洋書

集合的共通感情

選挙に意味があるとすれば、民衆の反体制的な共通感情を作り出す実践的装置として、です。選挙運動を通じて人々に、何が問題かを明らかにして、反資本主義の意識を作っていく過程としての活用です。それ以上の意義はほとんどないと思います。

逆に言うなら、現在選挙でいかなる政権ができて、反政権=選挙運動をますます強



めていかねばならないのです。そういう状態に世界が陥っているということです。IMFや世界銀行といった

「家の上に立つ世界組織、あるいは国際的大銀行や投資銀行など金融マフィアが、各国の重要施策を決定的に規定している、彼らに抗える政権などないのです。これが現代金融資本主義の実態です。」

国益を守ることを口実に極右ナショナリズムが各国で台頭しているのも、そのためです。自由・平等・民主主義(選挙)といったあらゆる近代的な前提が実態として崩れ、その虚構性が露わになっているのに、その前提を無批判に受け入れ、議論や運動を組み立てても意味がないのです。たとえばマスメディアでは、誰も

選挙制度そのもののせいや疑問を口にしません。

日本では、天皇制もタブーの一つです。憲法第一条では、「天皇は国家の象徴であり国民統合の象徴」と書かれています。国家や国民統合の象徴が「生身の人間」であること自体が基本的におかしいのです。それなのに第1条を問題にする憲法学者がほとんどいないことは異常と言わねばなりません。

天皇制の存続が自明の前提になつていて、誰も疑いを差し挟まないのです。天皇アキヒトが「生前退位」を口にして、憲法1条を問

題にすべき時です。付言するなら、天皇制の問題が単に「生前退位」うんぬんという狭隘な次元の話にとどまらず重要なのは、天皇制が廃絶されない限り(少なくともその機運が高まらない限り)階級差別や身分差別や民族差別や性差別など主要な差別が根本的に解消されないことは自明の理だからです(天皇制の根源的問題性については、5面掲載の小論を参照してください)。

日本も潜在的には内戦状態にあるのにそう見えないのは(沖縄の反基地闘争は内戦と

新しい時代に向かって連帯しよう

野党共闘で安倍政治にSTOP!

社民党元衆議院議員

服部 良一

大阪市西成区津守一―三二八
電話・FAX (06) 6562-1690五

「つくられた分断」を乗り越えて
連帯・団結しよう!

北大阪合同労働組合

豊中市岡上の町二丁目五―二八二F
電話(06) 6846-1830二
E-mail: kirasudo@ymail.plala.or.jp
大阪府高槻市城西町三―二〇二
電話(072) 6751-199九
E-mail: kirasoudu@cream.plala.or.jp

国家権力による人権侵害・弾圧に對して闘う!!

救援連絡センター

東京都港区新橋二―八―一六 石田ビル五階
電話(03) 3591-1130一
FAX(03) 3591-1130二
E-mail: kyuen2013@gmail.com

憲法違反常習者のアベ政権は退陣!

高木りゅうたと共に歩む会

〒569-0065 大阪府高槻市城西町三―一
E-mail: ryuta2013@gmail.com
電話(072) 6751-1130二
FAX(072) 6751-1130三
E-mail: ryuta2013@gmail.com

ともにオルタナティブを目指して!

地域・アソシエーション

研究所

〒567-0827 茨木市稲葉町四―五三階
電話(072) 630-560七
FAX(072) 630-567三
E-mail: local-association@groupamline.jp

時代の転換点 いかに関るか

新聞 未来

大阪市淀川区東三国六―二二―一六
WEB: http://kakuyodo.jp/

時評

私の直言

東野先生、東中野にあるボレ座でタイトルの本の出版記念講演会が催された。著者のダニー・ネフセタイさんはイスラエルのユダヤ人で、来日してすでに40年近くたつ。埼玉県秩父で、木工アクセサリを作る奥さんと一緒に木工房ノガリ家を営んでいる家具作家だ。

「国のために死ぬのはすばらしい」(本のタイトルはこの文章に疑問符をつけたもの)というのは、彼の母国イスラエルの国是のようなもので、「テルハイの日」という小学校行事の日の1週間前から、この文章が書かれた、黒板ほどの大きな横断幕が掲げられるという。

イスラエルは徴兵制があるので、ダニーさんは高卒で空軍に入隊。戦闘機のパイロットを志願するが、ある試験を突破できずにパイロットにはなれず特殊レーダー部隊に。そして3年間の兵役を終える。当時をふりかえり、自分がパイロットになつていたら、たとえば「イスラエルを守るためにはパレスチナ人の子どもが犠牲になるのも仕方ないと説明する人間になつたろう」と語る。

退役後、多くのイスラエル人の若者が行うように海外旅行へ。そして日本へ来る。一旦、東南アジアを旅して、2度目の日本で現在の奥さんである吉川とおくさんと出会い、結婚へ。吉川さんは大学で中世のユダヤ人の歴史を学んでいる。

問題があるのですが、選挙によって、ネオリベ資本主義を倒すことはもちろん「改良」することも至難のわざでしょう。逆にして自己を保存するために蜂起するという革新性もあり、そうした両義的本能と言えま

す。さらには、自己保存のための共生的なものも含んでいます。

「空気を読む」というのは、コナトゥスの典型的な順応的反応です。ところが「私はこれを言わないと生きていけない」という限界に突きあたると革新性へと反転します。管理職の過労死や過労自殺は、

コナトゥスが革新的・反乱的に社会への順応を求めているにすぎず、限界にぶち当たると、逆にして自己を保存するために蜂起するという革新性もあり、そうした両義的本能と言えま

す。さらには、自己保存のための共生的なものも含んでいます。

コナトゥスは、感情を理解する場合、スピノザ哲学の主要概念である「コナトゥス」の機能に注目しています。これは「自己保存本能」とか「生存力」と訳されていますが、自分の命を守るうとする根源

として、さまざまな講演、イベント、デモに参加することで、それだけではなく「日々の活動」を心がけること、イベントに参加した次の日に、家族、職場の人、学校の友だちへ伝える、日々の会話にも政治や社会のことを取り入れることが重要だと考えるようになったと彼は語る。そして平和、反戦

イスラエルなどについての講演を行う一方、2007年6月には「原発とめよう秩父人の会」を立ち上げ、仲間たちと秩父市内のオーガニックのパン屋「ラパンノール」くろうさぎ」で月1回の定例会を始め、原発で働いていた人たちがさまざまな分野の専門家による講演会や、秩父郡野町で反戦・

反原発のスタンディング、さらには秩父をはじめさまざまなところで放射能の測定を行い測定値マップをつくるなどの活動を行い、ぼくらにもできることから社会的な活動へ1歩踏みだそうと語る。

そして、日本政府が原発再稼働を進め沖縄で米軍基地を拡充し、海外で武力行使できる自衛隊を派遣するなど、急速にイスラエル化していることに、彼は強い危機感を抱いている。イスラエル化とは端的にいえば物事の解決を軍隊・武力に頼ることだが、今の日本政府はまさしく力に頼る方向へ急速に傾いていないだろうか。人々が、日本は国際社会の中で力を持つた国としての地位を確保すべきだと考え、その地位を守るのには武力だと思い始めた時、この国は破局に向かってなだれ落ちて行くのではないか。彼の危惧は私たちの危惧に他ならない。

「コナトゥス(編集)とメディア」

コナトゥス(編集)とメディア

コナトゥス(編集)とメディア

コナトゥス(編集)とメディア

コナトゥス(編集)とメディア

コナトゥス(編集)とメディア

コナトゥス(編集)とメディア

コナトゥス(編集)とメディア

コナトゥス(編集)とメディア

コナトゥス(編集)とメディア

謹賀新年 今年もよろしくお願ひいたします

株式会社 現代書館 おかげさまで創業50周年。 「知識を専門家だけのものにせず、 いかに分かりやすく伝えるか」を原点に。 東京都千代田区飯田橋三二二一五 電話 (03) 3221-1111 FAX (03) 3221-5906 http://www.gendaisha.co.jp/	代表取締役 庭林 利行 〒614-8142 京都府八幡市下奈良南頭一八番 電話 (0775) 971-5503 FAX (0775) 971-5504	野口 博文 代表取締役 東大阪市玉串町東二一三一〇 電話 (072) 968-6601 FAX (072) 968-6602 E-mail: hirasaka@kita-osaka.co.jp	株大阪産地直送センター 大阪府西淀川区千舟二一五一五 電話 (06) 6300-7480 FAX (06) 6300-7481 E-mail: osaka@kita-osaka.co.jp	誰かが肯定感に包まれる社会を	特異的でもあるのですが、 そこに共通の傾向性もあると いう点に注目する必要があります。 だから個々人の精神生活と グローバルな現象をつな げて理解することが重要な ですが、このミクロとマクロ をつなぐ回路の中に感情が占 めるウェイトはかなり重いと いうことです。	今や底辺層だけでなくエ リート層の中にも、矛盾を 感じている人はたくさんいま す。その矛盾を統合して反体 す。
--	---	---	--	-----------------------	--	--

補論 天皇の二重性をめぐって

天皇生前退位
いて今こそ議論を！

杉村昌昭

以下の小論は私が某出版社から出
す予定になっていた天皇制に関する
インタビューの「補論」として執筆

したものだが、この企画が現在中断
しているため、ここに公表すること
にした。(杉村)

天皇アキヒトのテレビを通
しての「生前退位宣言」を
めぐって天皇制をめぐる新た
な議論がでてきたのでインタ
ビューを補足する原稿を書い
てほしい、というのが編者か
らの要請である。しかし、マ
スコミ世論としてはともか
く、この「生前退位宣言」で
天皇制をめぐる問題に大きな
変化が生じたとは思わ
れない。

端的に言うなら、「生前退
位」をめぐるほとんどすべて
の議論が、根本的に天皇制
の存続を前提としたものであ
り、憲法第一条の「日本国と
国民統合の象徴」としての天
皇規定の問題性をあらかじめ
排除したところに成り立って
いるからである。戦後天皇制
の最大の問題は、この「天皇
は日本国と国民統合の象徴で
ある」という規定にしばられ
るのであり、このことの持つ
意味を度外視しては、いかな
る天皇制議論も無意味なので
ある。

「社会的非人間」としての
天皇の問題性

しばらく前に話題になった
ことだが、天皇アキヒトが「反
戦平和」の意志を表明して安
倍晋三の「好戦的姿勢」に異
を唱えていて素晴らしいなど
というべらぼう左派までが加
担した妄言の出所も、この「生
物学的人間」と「社会的非人
間」という、二重性を孕んだ
天皇の「絶対矛盾の自己同一」
とでも言うべきフィクション
に足を救われた議論である。
つまり、天皇が「天皇制度」
の支柱として機能し続けている
のは、天皇が「社会的非人
間」だからであり、「生物学
的人間」としての天皇は「社
会的非人間」としての天皇に
従属した存在にすぎないとい

は「生物学的存在」としては
「人間」であるが、「社会的存
在」としては「非人間」であ
るという得体の知れないフィ
クションにほかならない。そ
してこのフィクションのなか
に天皇（制度）をめぐるすべ
ての問題が集約されているの
であり、今回の「生前退位」
の問題にしても、このフィク
ションとしての天皇（制度）
をいかに解きほぐすが問わ
れているのである。

憲法第一条の天皇規定は一
種の形而上学（観念論）であ
ることに目を向けなくてはな
らない。人間の個人競争を出
発点・終結点と見なす新自由
主義の哲学が個人を「社会的
共同性」に先立つ「先験的」
な存在とみなす「個人主体の
形而上学」に依拠したもので
あるとするなら、ひとりの人
間を「社会的非人間」にまつ
りあげる「天皇規定」は「社
会的形而上学」であると言わ
ねばならない。ここに「新
自由主義社会」と「天皇制社
会」が原理的に根本的矛盾を
孕みながらも合流するという
イデオロギーの同一性を見な
なくてはならない。それは天皇
を普通の人間のような「個人
主体」（新自由主義のイデオ
ロギーの基盤）ではなく個人
を統合した「社会的主体」（社
会的共同性としての国家のイ
デオロギーの基盤）であると
位置づける「二重主体の形而
上学」であり、それが現在も
新自由主義と国家主義の矛盾
を統合する見えざる力（安倍

危険きわまりない内容を孕ん
でいるとも言えるだろう。

「生前退位」の意志表明の
理由とされたのは「公務」の
過剰に耐えられなくなったと
いうことのようなのだが、これ
はそもそも憲法における天皇規
定上「国事行為」（これが「社
会的非人間」としての象徴行
為である）以外はしなくても
いいものを、宮内庁や内閣と
相談の上であるが、「生身の
人間」（生物学的人間）とし
ての活動を自業自得的にやた
らと増やしたためだろう。被
災地やイベント会場あるいは
戦没者の慰霊の旅など、あれ
だけあちこちを飛び回って、
しかもいつも笑顔をふりまき
儀式では厳粛な面持ちで「お
言葉」を述べたりしていたら
それは疲れるだろう。まさに
「社会的非人間」としての活動

を「生物学的人間」として行
なうという自己矛盾による疲
労だと言わねばならない。し
かも、宮内庁や一部の「識者」
は、天皇が「社会的非人間」
であることを重視しているの
かどうかは知らないが、こう
いった「公務」は減らすわけ
にはいかないと語っているら
しい。

じつに天皇制をめぐるすべ
ての問題は「社会的非人間性」
と「生物学的人間性」の共存
という、「社会的形而上学」と
「個人主体の形而上学」によ
る天皇の存在論的「二重規定」
（ダブルバインド）と言っても
いいに由来するのである。

さて、この天皇という存在
様式の二重性のもたらす諸問
題を解決するには、一言で言
うなら天皇を「社会的非人間」
から「生物学的人間」に戻し

2017年 この世界を見すえ 変革しよう！

みんなで創ろう みんなの仕事！
特定非営利活動法人
関西仕事づくりセンター

〒530-0044 大阪市北区東天満一丁目二
エル・エスト不動産天満ビル四〇一
電話（〇六）六八六一二二一
FAX（〇六）六八六一〇七八二

社民党 寛容と共生の社会に
宝塚市議 大島 淡紅子

ソウル書林 李 慈 勲

神戸学生青年
センター館長 飛田 雄一

変革のための公共の広場
本郷文化フォーラムワークススクール(HOWS)
〒110-0003 東京都文京区本郷3-138-10 小川町企画内
03-6806-1656 URL: <http://hows.humanon.jp>

萌クリニックス

あけぼのびわく
治療院 島 あけみ

変えよう！日本と世界
反戦・反貧困・反差別共同行動in京都

間の本源的な相互依存性（人
間はひとりでは生きられない
ということ）に立脚した「共
同的社会」を前提にしてしか
成り立たない概念であること、
そしてそのような「共同的社会」
への展望に向かって一歩
踏み出すことに通じるだろ
う。個人が「先験的主体」と
して社会を構成するのではな
く、「社会的共同性」こそが「先
験的主体」であり、個人は人

迂遠な道かもしれないが天皇
制を名実ともに廃棄する第一
歩となるだろう。
アキヒト天皇の「生前退位」
の意志表明が取り沙汰されて
いるこの機会にこそ、この天
皇という存在の観念的「二重性」
そしてそこから抽出しうる天
皇制の根源的不条理の問題を
徹底的に議論しなくてはなら
ない。



老人は国会突入を目指す!

浪花の歌う巨人「パギヤン」 趙 博

■藤村直樹を「存じか」?

「ご存じならば、あなたはかなりの音楽通かフォーク愛好家のはずである。しかし敢えて言おう、藤村直樹を知らないあなたは、その事実を恥じよ」と。

■老人同志よ、ともに歌わん!

1・日本中の村から町から都会の谷間から 車椅子で 松葉杖で 老人たちは国会を めざす よたよた よぼよぼ こけつ まろびつ ぜいぜいと 這いずりながら 政府を倒すために

2・その夜中 メールは日本中をとびかっただ老人よ、見捨てられた者たちよ! 国会をめざせ! 政府を倒すために!



藤村直樹 (1948〜2010年)

ルース」が注目を浴びるも、口歌手にはならず、その後医学に専念するために故郷・和歌山へと戻った。帰郷後もフォークへの情熱は途切れることなく「和歌山フォーク村」を結成、ラジオやテレビにも出演した。しかし、医学研究と多忙な病院の仕事を優先せざるを得ず、しだいに音楽活動からは遠ざかっていったのである。

活動を盛んに行った。特筆すべきは、「後期高齢者医療制度」の施行を前にした2006年末から2007年上半期にかけて、小泉改革下の医療・介護の崩壊状況を調査するため、藤村が半年間、医療機関や介護施設を詳しく訪ね歩いたことである。その地道な調査と異議申し立てから、「老人は国会突入を目指す」という楽曲が生まれた。8分9秒のシングルCDを制作して発売記念関西ツアー・ライブを敢行、2008年5月18日に発売を果たしたが、「放送禁止歌」の憂き目に遭った。

便も小包もなくなった病気になるまで 医者にかかれな い だいいち医者まで行くこともできない 治療は高くつて もらった 院外処方箋を破る

労働倒れ 金持ちだけがアメリカへ産みにゆく 5・たつた2パーセントの金持ちたちが 日本の富の95%を持ち 貧乏なものは孫子まで 生きていくことさえ おぼつかないのだ 6・初夏の夜中 少し認知症のひとりのオタク老人が 思い出した そうだ俺たちは 団塊の世代 果たせなかつた 国会突入を!

命令は 命令した 引き金を引かなければ お前たちは 軍法裁判だ! 泣きながら 兵士たちは 機関銃を 発射した 10・何万発の 銃弾が しわくちゃの 皮膚を裂きしなびた肉を 骨粗しょう症の骨を こなごなに 吹き飛ばした 11・それでも 老人たちは たじろがなかつた 失うものは 命さえ もう何もな

■藤村の遺志を引き継ぐのは「我々老人」だ!

高田渡(※①)の主治医だった藤村は、2009年4月4日の「高田渡生誕会60(追悼ライブ)」で「君こそは友」を発表した。これは高田へのレクイエムであり、その後、元「五つの赤い風船」の長野隆や、京都、関西を中心としたミュージシャン38人と共に、「君こそは友」一曲を15パターンに演奏し分けたCDを制作した。これが彼の遺作となった。

藤村は、医師を引退した後、紛争地域で苦しむ子どもたちに対する医療活動に参加し、たいと考えていたのだが、健康上の事情から実現することはなかった。CD「君こそは友」の売り上げの一部をパレスチナ・ガザ地区の子どもたちにワクチンを送るためのチャリティーにと位置付けながら音楽活動が続けたが、2010年4月27日、敗血症のため死去。享年63だった。

得ない。たとえ百万の群衆が国会を一年間に亘って取り巻いても、各企業の生産ラインと流通・交通機関が安泰である限り、社会変革は絵に描いた餅であることは「言を要さぬ。即ち、佐藤流の『市民革命』とは、ウンドウやトウソウのサブカルチャー化の別名なのである。

注

- ①高田 渡(たかだ わたる、1949 - 2005年) 1960年代から約半世紀に亘って活躍したフォークシンガー。父親は、詩人・活動家・元共産党員の高田豊。代表曲に「白衛隊に入ろう」「転身」「しらみの旅」「生活の柄」「長屋の路地に」「鉾夫の祈り」などがある。
- ②佐藤 学(さとう まなぶ、1951年 -) 教育学者。学習院大学教授、東京大学名誉教授。「安全保障関連法案に反対する学者の会」発起人。
- ③佐藤 学「市民社会の革新と若者の社会運動」SEALDsが掲示した地平」『神川大学評論』84号 2016.7.30、P.54)

いま 米国では

トランプ勝利と米国内の運動

翻訳・脇浜義明

今月20日、ワシントンでトランプの米大統領就任式が行われる。ヘイト発言・暴言を繰り返すトランプの就任式に対して有名歌手が出演を拒否し、20を超す団体が抗議デモを計画している。抗議には最低でも20万人以上の参加が予想されている。

トランプ政権発足を目前に、アメリカの運動はこれからどう闘っていくのだろうか。パレスチナ連帯運動や先住民運動、労働運動の各現場からの分析を紹介する。(編集部)

ネタニヤフ、次期米国大統領を歓迎

ヒラリーも、トランプも、親イスラエルの米国政治

ヒラリー・クリントン、好戦的親イスラエル派、好戦的反パレスチナ派で、BDS運動を妨害する人物であるのは多言を要しないが、トランプはどうか。以下は、電子インティファダのアリ・アブニマが書いたもの(2016年11月9日付)の一部である。



▲イスラエル首相・ネタニヤフ

次期大統領ドナルド・トランプについて言えることは、「彼が何をやるか、誰にも分からない」ということだ。選挙運動初期に彼が、「パレスチナ人とイスラエル人を平等に扱う」と発言したので、多くの親イスラエル派とネオコン支持者がクリントン支持に回った。それを見て彼はすぐに方向転換、エルサレムをイスラエル国の「分割できない首都」と認める、とネタニヤフに伝えた。西岸地区入植地建設を激

励した。そのくせトランプは、時々イスラエルへの妥協を流す姿勢を見せた。共和党の指名を勝ち取った後の記者会見で、共和党大統領候補がイスラエル訪問をする伝統があるが、あなたは訪イスするつもりか?と尋ねられたとき、「単なる伝統だろう。私は伝統主義者じゃない」と答えた。トランプは

「貫性のない人間のように見えるが、彼の『親イスラエル』的態度は積極的に入植地建設を認めたオバマとあまり変わらないように思える。」勝利宣言では、「すべての国々と友好的にやっていく」と一般論を述べたが、これは何の慰みにもならない。トランプのムスリム嫌悪、メキシコ人差別、女性差別、地球温暖化否定、人種差別への態度を支援した人々がこれから掻き立てるであろう恐怖を消すものではない。

彼と同じレイシスト体質のイスラエル政治家は、彼の勝利を祝福した。ネタニヤフは彼に電話して「イスラエルの真の友人」と呼び、アラブ人殺害を自慢するのが好きなナフタリ・ベネット教育相は、「トランプ時代到来を歓迎する」と言った。「トランプ勝利は、イスラエル領のど真ん中にパレスチナ国家建設という発想を打ち消した」とも語ったが、そもそもこの二国解決案は、とつきの昔に死んでいる。

パレスチナの大義は、すでに国家建設から、米国の二大政党が支持する占領・入植者植民地体制・アパルトヘイトと闘い平等な権利を求める人権闘争に変化している。米国の大統領選挙の結果でパレスチナ人の闘い方が変わるわけではない。

トランプが勝ったけれど、パレスチナ人の権利を支持する米国人(ユダヤ系米国人も含めて)は着実に増えている。米国人は、米国のイスラエル支持は、白人優越主義、黒人に対する警察の暴力、米軍国主義、帝国主義陣営から由來するばかりでなく、リベラル人権団体を名乗る陣営からも由來している現実を、次第に理解するようになっていく。

ダコタ・アクセス・パイプライン建設阻止

スタンディングロックでの先住民の闘い

ジェニ・モネットというラターナ・プエブロ部族の女性が『イエス・マガジン』に書いたもの(2016年11月10日付)の一部。

石化燃料増産、規制緩和及び撤廃、オバマの気象変動に関する政策の見直し、などが内容。これでエネルギー業界はトランプ支持へ回り、トランプは共和党既成体制を乗り越え、指名を勝ち得た。

トランプ勝利は、ダコタ・アクセス・パイプライン建設阻止運動と先住民の権利と生活を守る闘いにとつてかなり厳しい。第一に、トランプはこの事業から個人的にかなり利益を得る立場にある。彼の選挙運動顧問のハロルド・ハムは、バッケン水産破産で取り出した原油をパイプラインで運ぶ会社コンチネンタル・リソーセス社のCEOで、ひよっとしたら彼がエネルギー省長官になる可能性がある。

ポリテコ誌が伝えているように、トランプは石油会社ルークス・オイル社のフォレスト・ルーカス(74歳)が、「掘れ、ベイビー、掘れまくれ」というキャッチフレーズで有名になった保守系政治家サラ・ペイリンのどちらかを内務長官にすることを検討している。

先週末、パイプラインは、スー族の水源地であり下流1800万人の生活水であるミズーリ川に到達した。オバマ政府は工事中止を呼びかけたが、ETPはそれに耳を貸さず、ミズーリ川を横断するつもりである。政府は工事許可の見直しとルート変更を検討しているが、それというのも、現在のパイプライン・ルートは、米陸軍工兵隊が地役権を持つ土地を横切ることになるからだ。しかし、E

TPは予定通り工事が進むことに自信を持っている。

大統領選挙投票日に、ミズーリ川流域のオアヘ湖の底にトンネルとの計画を発表。工事中断もルート変更する気もないことを明らかにした。会社の予測通りトランプが勝利、会社をいっそう元気づけた。トランプは、ETPに100万ドル、さらに石油精製会社フィリップ66に10万ドル投資している。フィリップ66は、ダコタ・アクセス・パイプライン事業株の4分の1を所有。

勝利、会社をいっそう元気づけた。トランプは、ETPに100万ドル、さらに石油精製会社フィリップ66に10万ドル投資している。フィリップ66は、ダコタ・アクセス・パイプライン事業株の4分の1を所有。

勝利、会社をいっそう元気づけた。トランプは、ETPに100万ドル、さらに石油精製会社フィリップ66に10万ドル投資している。フィリップ66は、ダコタ・アクセス・パイプライン事業株の4分の1を所有。

民主党推薦のクリントンからサンダースへ中央から離反する

米労働組合

『レーバー・ノーツ』のマーク・ブレンナーの分析の一部。

のほ昔のこと。今は組合幹部も民主党議員と同じようにN

は、スー族の水源地であり下流1800万人の生活水であるミズーリ川に到達した。オバマ政府は工事中止を呼びかけたが、ETPはそれに耳を貸さず、ミズーリ川を横断するつもりである。政府は工事許可の見直しとルート変更を検討しているが、それというのも、現在のパイプライン・ルートは、米陸軍工兵隊が地役権を持つ土地を横切ることになるからだ。しかし、E

のほ昔のこと。今は組合幹部も民主党議員と同じようにN

のほ昔のこと。今は組合幹部も民主党議員と同じようにN

米労働組はこれまで、政治家や政党工作員に自らの運命を委ねてきた。選挙のたびに金、時間、動員を民主党に提供。そしてその見返りは年々少なくなっていた。組合役員が民主党政権を牛耳っていた

のほ昔のこと。今は組合幹部も民主党議員と同じようにN

のほ昔のこと。今は組合幹部も民主党議員と同じようにN

のほ昔のこと。今は組合幹部も民主党議員と同じようにN

のほ昔のこと。今は組合幹部も民主党議員と同じようにN

2017年もともに!

株式会社 鹿岩社
代表取締役 鹿岩 利康
〒663-8178
兵庫県西宮市甲子園八番町二一三〇二
電話(079)491-5302
FAX(079)491-5309
E-mail: hasegawa@tokusatsu.com

株式会社 鹿岩社
月刊 紙の爆弾
取締役編集長 中川 志大

〒101-0061
東京都千代田区三崎町三三三三三〇
電話(03)3333-8753
FAX(03)6333-1556
E-mail: nakagawa@tokusatsu.com

宮崎 学

◆全原発廃止を！

大地震や噴火の前に、原発廃止へ

最近地震が多い。熊本地震、大分中部地震、福島沖地震、火山噴火もおきた(阿蘇山噴火、桜島噴火)。日本列島の大地が揺れています。地震と津波が原発を襲う時、大惨事がおきます(2011年3月11日東京電力福島第一原発1から4号機過酷事故)。

大地震や噴火がおきる前に、なんとしても全原発を止めよう、廃止を。次の大事故がおきれば日本は傾きます。運動の最大重点として早期の原発廃止へととりくもう。子や孫のために。地震や火山の噴火は防げないが、人間のつくった原発は、人間の力で廃止できます。

(東京・たんぼ舎)

◆反戦・反差別闘争

世界中で難民排除に象徴される自己中心、弱い者いじめの右傾化がすすみ、決して「お

また、沖縄での機動隊員の「土人」「シナ人」という暴言を知事や大臣が容認するするという、差別とは何かを判っていない人が日本の政治にたずさわっているのです。さら



国際サーカス村協会・西田敬一

に、非正規労働者への差別待遇、年金制度の改悪、高齢者への医療費負担の増大、カジノ解禁、等々どうしようもない世相になってきました。

私自身、高齢から体力的にどれだけ行動できるか自信はありませんが、姿勢だけは今年も反戦・反差別を貫こうと思っています。ひきつづき本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(大阪・奥村貴夫)

◆変革の時

いつも変わらぬ支援励ましありがとうございます。世界は排外主義や格差が広がり「トランプ化」する一方で、変革の時とも言えます。「バルフォア宣言」から百年、「パレスチナ国家建設」をつぶす動きに抗し、

◆政治の市民化

2016年10月、9度目に於いて次点12票差落選、よりアクトタイプに主権者市民として傍聴席に座り市民参加三昧より効果的の反応の中でやらせて頂いています。15回と1つ増やして選挙落選、市議8回当選。再来年5月市長選に挑む。市民に分かる情報公開出来る市長を誕生させたい。主権



みなさまのおかげで、昨年2016年には、関西クイア映画祭第10回を迎えることができました。第11回は、2017年秋に開催予定です。今後とも関西クイア映画祭をよろしくお願いいたします。

関西クイア映画祭 実行委員会

〒606-8214 京都市左京区田中南大久保町17-1 ぼろいんハウス606
電話：090-3820-2731(留守番) FAX：06-7878-8882
ウェブ：kansai-qif.org メール：info@kansai-qif.org
Twitter: kqif_official Facebook: KansaiQIF



迎春 2017

◆闘争への支援を！

今年も厳しい闘いがまっています。

昨年末には、九州ビル管理、西原商店のパワハラを巡る争

議において、両争議とも、パワハラ責任を認めさせ、謝罪を勝ち取る勝利和解解決をすることができました。

今年の課題は、新たな争議である(社)シテイ・ケアサ



ビスとベルシステム(株)との闘い、そして長年の闘いとなった(株)ファビリスとの復讐要求闘争です。

また、市民運動の領域においては、高島市長建国記念の式典出席費用住民訴訟と福岡県警神縄派遣費用住民訴訟の2つの訴訟に取り組まします。

◆介護・福祉総がかり行動

昨年10月、介護・福祉総がかり行動(準)をたちあげました！本年もご指導・ご鞭撻よろしくお願ひ致します。

戦争と福祉切捨ては車の両輪でやってくる。死ぬまで働け！働けなくなったら死ね！保険料あつて介護なし、年金もなし。めでたし、めでたし！これが「1億

◆ピョンヤン・かりの会

大きく変わりゆく世界の中で、朝鮮から日本の新しい春を祖国の皆さんと共に考えていく新年にしてゆきたいと思ひます。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

トランプ現象をハイパー・ポピュリズムと見るか、民衆の反乱と見るか、正しい対応が問われる新年。皆様の御活

◆城崎 勉

躍を心からお祈り申し上げます。旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

◆福島・全国一般全国協いわき自由労働組合

今年も働く者の未来のため Nothing About

◆私たちのことを私たちが決める

3年前「障がい者権利条約」昨年「障がい者差別解消法」が施行され、「合理的配慮」や「他者との平等」等の実現に一歩一歩向かっています。

◆京都・前進友の会

旧年中は、本当に、お世話になりました。交流の輪を拡げていきたいです。交流の輪を深めていきたいです。本年もよろしくお願ひいたします。

◆大阪・オシテルヤ就労支援センター よろず工房

2015年8月、オシテルヤ就労支援センターとしてスタートしてから、あつという間に1年が過ぎました。

◆編集部より

ここに掲載した以外にも、たくさんの方の新年あいつつ・年賀状をいただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。どうもありがとうございました。

◆大阪・オシテルヤ就労支援センター よろず工房

紛争を武力でしない(戦争法廃止アキラメ無い)、だから死刑は廃止を・脱原発。関空、三里塚、空港は廃港に。(大阪・小山広明)

◆京都・前進友の会

旧年中は、本当に、お世話になりました。交流の輪を拡げていきたいです。交流の輪を深めていきたいです。本年もよろしくお願ひいたします。

◆城崎 勉

躍を心からお祈り申し上げます。旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

◆福島・全国一般全国協いわき自由労働組合

今年も働く者の未来のため Nothing About

◆私たちのことを私たちが決める

3年前「障がい者権利条約」昨年「障がい者差別解消法」が施行され、「合理的配慮」や「他者との平等」等の実現に一歩一歩向かっています。

◆京都・前進友の会

旧年中は、本当に、お世話になりました。交流の輪を拡げていきたいです。交流の輪を深めていきたいです。本年もよろしくお願ひいたします。

◆大阪・オシテルヤ就労支援センター よろず工房

2015年8月、オシテルヤ就労支援センターとしてスタートしてから、あつという間に1年が過ぎました。

◆編集部より

ここに掲載した以外にも、たくさんの方の新年あいつつ・年賀状をいただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。どうもありがとうございました。